

## J-SLA ニュース・レター 2014 年 6 月号

初夏の候、J-SLA 会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。今回のニュース・レターは、報告、発表、お知らせがございます。

### 報告 (1) : 学会誌 **Second Language**

13 号(2014 年度)は現在、準備中で、9 月末の発行を予定しております。また、14 号(2015 年度)の投稿締め切りは 8 月末日です。ふるってご投稿ください。

### 報告 (2) : 2014 年度 J-SLA 年次大会終了

5月31日(土)・6月1日(日)の二日間、関西学院大学上ヶ原キャンパスで2014年度大会が開催されました。今年は、ポツダム大学(ドイツ)のFelser先生とClahsen先生に講演をしていただきました。今年の参加者は141名でした。懇親会も盛況で招待講演者のおふたりと話をしたり、会員同士で情報交換をしたりと、参加されたみなさんが有意義なひとときを過ごされている様子がうかがえました。

来年度は、2015年6月6日(土)・7日(日)に広島大学で年次大会を開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。また、研究発表にもふるってご応募ください。

### 報告(3) : 総会決定事項

1. 監査報告により、2013 年度決算が無事承認されました。また、2014 年度予算も承認されました。
2. 2015-2017 年新役員が以下の通り決定されました。  
会長：若林茂則 (中央大学)  
副会長：稲垣俊史 (名古屋大学)  
事務局：柴田美紀 (広島大学)
3. 2016 年度 PacSLRF が中央大学で開催されます。詳細が決まり次第、HP に掲載します。
4. 年 2 回総会を開きます。これまで年次大会のみでしたが、今年度から『秋の研修会』でも総会を開催します。

---

### 発表 : J-SLA 優秀口頭発表賞

2014 年度大会より口頭発表の中から優秀賞を選出することとなりました。会長が指名した審査委員 3 名による審査の結果、2014 年度 J-SLA 優秀口頭発表賞は以下の発表に決定しました。

Nakamura, Chie, Arai, Manabu, Harada, Yasunari & Hirose, Yuki

『L2 learners' use of verb subcategorization information in processing filler-gap dependencies』

なお、2014 年度『秋の研修会』にて授賞式を挙げる予定です。

---

### お知らせ(1)：2014 年度夏季セミナー

日程: 2014年8月28日(木)～30日(土) (2泊3日)

場所：関東甲信越地区国立大学 草津セミナーハウス

(〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津 7 3 7)

申込締め切り：2014年7月20日(日)

定員：30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

- 研究発表を募集します。研究途中のものでもかまいません。修士論文、卒業論文などサマーセミナーで発表して、いろいろな視点から SLA を研究している人たちから様々な有益なコメントが得られます！院生のみなさん、学部生のみなさんの積極的な参加をお待ちしています！
- 開催場所、料金設定、内容に関しましては、J-SLA ホームページ (<http://www.j-sla.org/index.html>)に掲載されておりますので、そちらをご覧ください。
- ただ今、J-SLA ホームページから申し込みを受け付けております

### お知らせ(2)：秋の研修会

場所：関西学院大学 梅田キャンパス 1004 教室 (10F)

日時：2014 年 10 月 19 日(日)

受付 9:30 ～

講演 1 10:30-12:00 松尾歩氏 (神戸女学院大学)

「追試法を使った動詞習得の研究について」

講演 2 13:30-15:00 楠本紀代美氏 (関西学院大学)

「Type Theory and Quantification」

講演 3 15:15-16:45 岸本秀樹氏 (神戸大学)

「統語構造の日英比較」

参加費：1,000 円